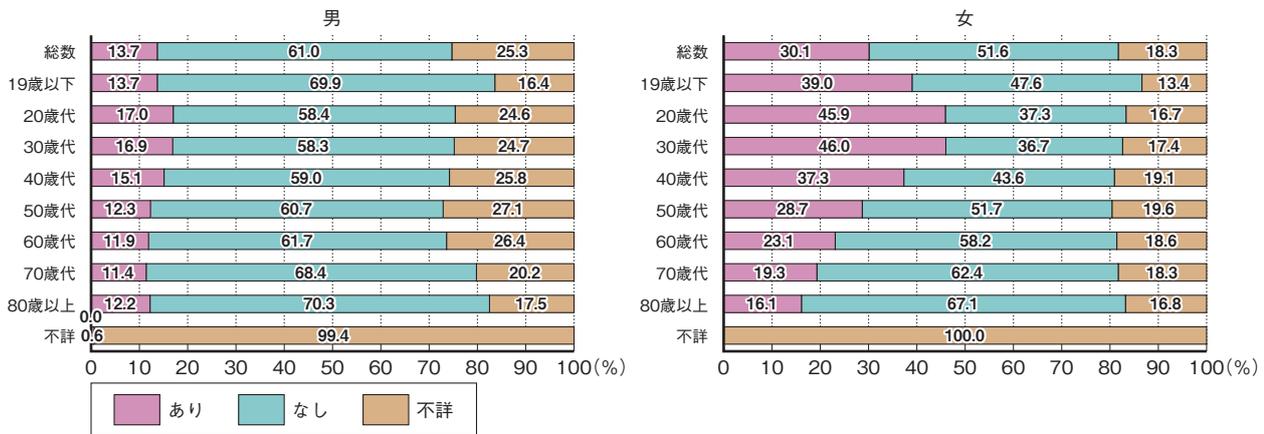


14 自殺未遂の状況

平成22年における自殺者の自殺未遂歴の有無について、自殺統計によれば(第1-43図)、全ての年齢階級で、自殺未遂歴が「あり」の者の割合は、女性が多くなっている。特に、女性の20歳代及び30歳代において、45%以上

の者が自殺未遂歴が「あり」となっている。また、男女とも、自殺未遂歴が「あり」の者の割合は20歳及び30歳代が多く、40歳代以降は年代が上がるにつれてその割合が小さくなる傾向がある。

第1-43図 平成22年における自殺未遂歴の有無別自殺者数の割合

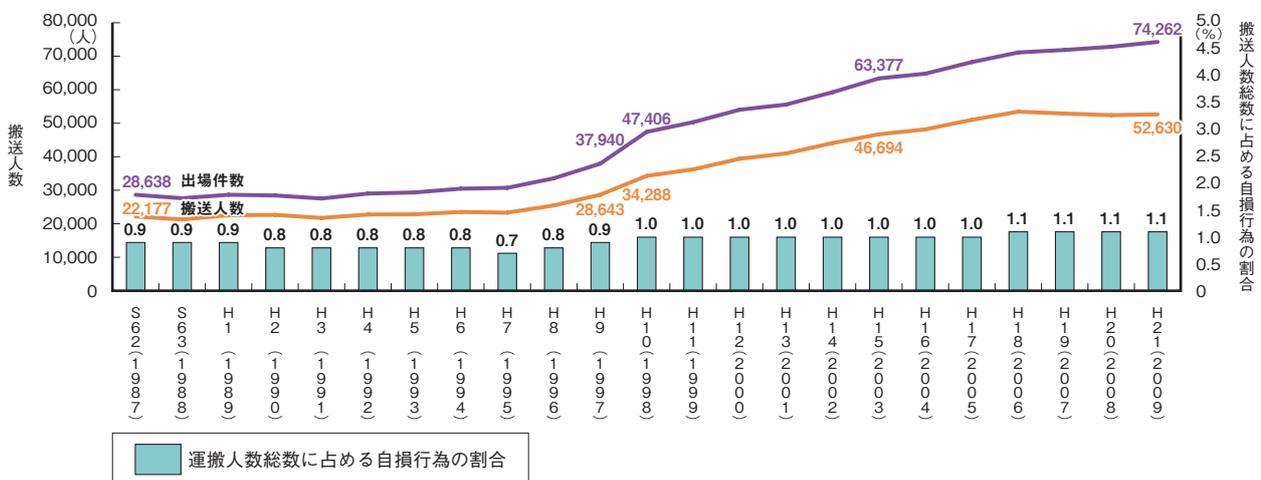


資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成

次に、消防庁の救急・救助の現況によれば(第1-44図)、自損行為による救急自動車の出場件数及び搬送人数はともに増加傾向にある。平成21年における自損行為の状況については、救急自動車の出場件数は7万4,262件であり、前年に比べ1,448件(2.0%)増加し

ている。搬送人数は5万2,630人であり、前年に比べ222人(0.4%)増加している。また、搬送人数総数に占める自損行為の搬送人数の比率は、横ばいで推移しており、平成21年は1.1%となっている。

第1-44図 自損行為による救急自動車の出場件数及び搬送人数の推移



資料：消防庁「救急・救助の現況」より内閣府作成